

政治資金残りあと

209,075円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	254,962円
印刷代（ピラ印刷代）	12,560円
交通費（駐車場、高速代）	2,200円
文具費	1,285円
通信費	28,792円
調査研究費	2,250円

市政を考える

月刊武松

発行日
99/7/5

第2号

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠
武松政策研究会

一般質問しました！？

6月の市議会定例会で一般質問をしました。

一般質問は、議会席で議員個人が行政に質問できる唯一の場です。議員の政策で次年度予算を取りたいのであれば6月と9月に一般質問をしておくことが政策実行の第一歩と教わりました。

一般質問のテーマですが、この秋にも着工される小田原駅東西自由連絡通路と、ダイオキシン関係、公園を選びました。

小田原駅東西自由連絡通路は、構想開始から20数年を経てようやく着工されるものです。運輸相の諮問機関である運輸政策審議会でも「乗り換え利便の向上が必要な駅」として、JR小田原駅と小田急小田原駅（神奈川県小田原市）を挙げています。

また駅利用者の中に積極的に外出する身体障害者が増えており、厚生省の平成8年度身体障害者実態調査結果の概要によると、全国の肢体不自由者数は、昭和45年の76万3000人から平成8年の26年間で165万7000人と2.2倍に増えています。

平成8年度の肢体不自由者のうち毎日外出する方は、約35%、週に2～3回外出する方は、20%合計で55%の方が積極的に外出しています。この比率を小田原市に当てはめると概ね1400人以上の肢体不自由者が週に2～3回以上外出している計算になります。

また、外出する上で困ることの状況は、肢体不自由者の場合、利用する建物の設備（階段、トイレ、エレベータ等）の不備が36%、交通機関の利用が不便が33%、道路や駅が利用しにくいのが23%になっています。

東西自由連絡通路は、車椅子の方が一人で駅前広場からホームまで行くことができる設計にしておく必要があると考えました。

ダイオキシン関連は、市内の継続的な観測の必要性和、魚市場の焼却炉で発泡スチロールを燃やしていることについて質問しました。魚市場については発泡スチロールの加熱減量処理設備が7月上旬に移動するとの事でした。

公園については、住宅地の児童公園（開発地の街区公園）が狭いことや空地进行を短期間借上げができないか質問しました。フェンスや地ならしの費用が少なく済む土地や市民の陳情があれば柔軟に対応するとのことでした。

一般質問の概略は、議会だよりに掲載されます。皆さんも議会だよりにも目を通して下さい。今度、編集副委員長に任命されました。議会だよりの感想も頂ければ幸いです。

議会用語解説第1弾

一般質問！？

議会用語が色々ありますが、あまり一般的ではないので解説します。今回は一般質問。

いつ？

小田原市議会の場合、一般質問は定例会の6月、9月、12月にすることができます。

誰が？

市議会議員であれば誰でも質問することができます。

誰に？

基本的には行政側、市長に対し質問します。

何を？

基本的には、市政に関することであれば何を質問してもかまいません。

どうやって

会期の初めの方に質問受付があります。そこで質問の概略（**発言通告書**）を**議会事務局**に提出します。質問の順番は、受付順で、一番に質問したければ受付開始の朝8：30に提出します。

提出後すぐに**担当部署と質問内容の詳細について打合せ**を行います。その後は質問の**原稿を事務局**に提出し、語句や内容の再確認をしてもらいます。

第一回目の質問は、以上のように原稿の読み上げです。市長の答弁に対し再質問がありますがこれは、完全アドリブの人がいれば、予め原稿を用意している人もいます。私は、完全アドリブでやってみました。

市長の答弁の要点を瞬時に理解し、質問内容を組み立てなければならぬため、かなり緊張しましたが質問のつじつまは合っていたようです。

以前の答弁の議事録をみると再質問では、「だけんども、～」とか、なまり丸出しの答弁があったりと面白いものがありました。

今回は、常任委員会について解説します。

サラリーマン 辞めました！？

日本経済新聞4月28日夕刊をご覧になった方もいらっしゃると思いますが、会社を休職するか退職するか？について結論を出しました。

結論は、6月末で**会社を辞めました**。

(会社：日本真空技術株式会社)

会社を辞めた理由は、

1. 議員に専念し、勉強したい。
2. 議員報酬だけでも当面は、生活できる。
3. 次回選挙で落選して会社に戻ったとしても、それなりのポジションしかない。
4. 家族の同意を得た。

選挙に出馬する際に、予め想定していたとはいえ、

13年間勤めた会社を辞めるとなると、今まで積み上げた多くの信頼関係を無にする訳で、多くの人から「もったいない。」と言われました。

退職すると決めてから5月中旬から6月末までは、引継ぎ作業に追われました。

議会が休会中の場合は、フルタイムで裾野工場や茅ヶ崎本社を行き来し、地方、海外、取引先や顧客とは電子メールでやりとりしました。

特に、取引先と顧客には、選挙活動中の1ヶ月は、長期出張に出ていることになっていたため、会社を辞めることを連絡すると、非常に驚かれました。「会社を辞めなくてもいいだろう。」「後継者は誰?」「辞めた後も連絡してかまわないか?」「何でそんなこと、しでかしたの?」など色々ありました。

辞めたことによる最大の問題点は、長期のローンが組めないということです。たとえば車のローンにしても残りの任期以上は、設定できないようです。

武松 忠は議員に専念し、がんばります。

The Voice 今までに頂いたご意見から

鴨宮駅南口

鴨宮駅南口の駅前の階段で、学生が弁当や菓子を食べ散らかしている。お年寄りが片付けているようだが、みっともないし、何とかならないか。教育の問題でもある。そちらのグループで排除することはできないのか?

鴨宮南口利用者 男性

最近、ごみの投げ捨てには、目に余るものがあります。

鴨宮駅南口の場合、階段まではJR東日本の管轄で、駅前広場とロータリーは、小田原市の管轄です。ごみが片付けられていないのは、管轄の境界線が原因の一端なのかもしれません。

朝ビラを配布していると、階段の部分は毎回、JRの職員がごみの片付けをしています。駅前広場とロータリーについては、ビラの配布時間中には実施されていないので分かりません。

人間の心理として「きれいなところには、ごみを捨てない」ということもあるそうです。

駅前を利用する我々にできることは何かと考えると、「一人一人が、落ちているごみを1つ拾う。」ことだと思うのです。

他にも色々な案があると思いますが、私はビラの配布時と駅の利用時に実行しようと思います。

武松政策研究会（月例勉強会）を開催します。

どなたでも気軽に参加下さい。

日時：7月17日（土） 18:00～20:00

場所：小田原市民会館 6F 第3多目的ルーム

テーマ：「託児」

参加費：1名につき100円

終了後、懇親会（実費3000円程度）も開催しますので気軽に参加下さい。

懇親会のみ参加も歓迎します。

